

網走港 新港地区 小型船だまり整備事業

【便益算定根拠】

○流水等による小型船の損傷回避
 ・船揚場の整備に伴う小型船の損傷・損失回避額を算出する。対象隻数は実績から39隻／年とする。本プロジェクトの実施により、242百万円／年の流水等による小型船の損傷回避が図られた。

〔流水等による小型船の損傷回避便益〕→ 242 百万円／年

・流水等による小型船の損傷回避便益(①)→ 242 百万円／年

【流水等による小型船の損傷回避 対象漁船:10~20GT未満】

項 目	With時	Without時
a: 対象隻数(隻／年)	39	39
b: 漁船の新造価格(百万円／隻)	29	29
c: 船体損傷率	0	0.2
d: 補修期間(日)	0	14
e: 休業損失額(円・隻／日)	22,400	22,400
f: 凍結防止電力料金(千円／隻)	0	87
g: 年間損失額(千円／年) (a×(b×c+d×e+f))	0	241,823
流水等による小型船の損傷回避便益(計) (百万円／年)	242 ①	